

さすが8強 白熱の攻防



第八回市民タイムス杯で勝ち上がったの進出。少年サッカー新人戦は十一日の筑摩はいずれも相五日、松本市島内のおずさ運動公園グラウンドで八強が対戦。準々決勝から決勝までの七試合のうち、1点差三試合、同点によるPK戦二試合など、いずれも互角の試合を展開。とくに準決勝、決勝は力のこもった熱戦だった。

決勝戦は、地元松本勢同士の対戦。鎌田は決勝までの二試合を、1点差

後半、筑摩も持ち前の粘りをみせ、激しく鎌田陣内へ攻め込むが、鎌田のGK・清水和美(同五年)の出足の早い好守に得点を奪えず、鎌田が最少得点を守り切った。

津滝博武鎌田監督の話
 ふだんの攻めのサッカーができなかったが、よく守り抜いた。この冬のトレーニングで一層技術力に磨きをかけた。

井口達朗鎌田主将の話
 うれしい。みんなで力を

ゴール前のボール争奪
 (準々決勝・旭町一波田町)

を合わせ、一生懸命プレーしたことが優勝できた理由だと思っています。

市民タイムス杯少年サッカー



優勝の鎌田チームに市民タイムス杯が贈られる



【鎌田―筑摩】前半十五分鎌田、吉沢が右足で先制のシュート。これが決勝点となった